

17. 附屬地内(安東駅並沿線各駅構内)満洲国警察官派遣方針

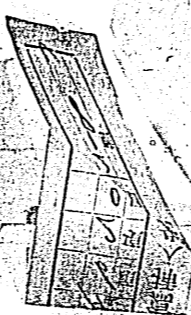
S 1.4.4.0 - 1

921

REEL No. A-0464

0386

アジア歴史資料センター



係 丁三
三

東亞局 第二課

公機密第一三四三號

昭和十年七月二十日

在滿洲國
特命全權大使 南

次

外務大臣 廣田弘毅 殿



滿洲國警察官吏滿鐵附屬地驛派遣ニ關スル件

本件ニ關シ滿洲國民政部ト關東局トノ間ニ於テ内密協議ヲ進メラレ
ツ、アリシカ兩者ノ意見一致シ本月十五日ヨリ實施スルコト、ナリ
中央警務聯絡會報ニ於テ關東局ヨリ日滿各警務機關ニ内示セラレタ
ルカ其ノ内容別添ノ通りニ付右申進ス
追而本件ニ關シ民政部大臣關東局間ニ協定アリタル旨七月一日發
行ノ當地ノ新聞紙ニ掲載セラレシヲ以テ現在ノ日滿關係ニ於テ實

儀調

在滿日本帝國大使館

南滿洲鐵道附屬地行方
七月十九日
1079

S 1.4.4.0 - 1 922

REEL No. A-0464



アジア歴史資料センター

本信寫挿入先
6
2
18
8

ア三
三
三

東亞局 第二課

公機密第一三四三號

昭和十年七月二十日

在滿洲國

特命全權大使 南

次

外務大臣 廣田弘毅 殿

滿洲國警察官吏滿鐵附屬地驛派遣ニ關スル件

本件ニ關シ滿洲國民政部ト關東局トノ間ニ於テ内密協議ヲ進メラレ
ツ、アリシカ兩者ノ意見一致シ本月十五日ヨリ實施スルコト、ナリ
中央警務聯絡會執ニ於テ關東局ヨリ日滿各警務機關ニ内示セラレタ
ルカ其ノ内容別添ノ通りニ付右申進ス

追而本件ニ關シ民政部大臣關東局間ニ協定アリタル旨七月一日發
行ノ當地ノ新聞紙ニ掲載セラレシヲ以テ現在ノ日滿關係ニ於テ實

儀調

在滿日本帝國大使館



手
南
滿
鐵
附
屬
地
驛
派
遣
ニ
關
ス
ル
件
關
東
局
ヨ
リ
日
滿
各
警
務
機
關
ニ
内
示
セ
ラ
レ
タ
ル
事
關
東
局
ヨ
リ
日
滿
各
警
務
機
關
ニ
内
示
セ
ラ
レ
タ
ル
事
關
東
局
ヨ
リ
日
滿
各
警
務
機
關
ニ
内
示
セ
ラ
レ
タ
ル
事

S 1.4.4.0 - 1 922

REEL No. A-0464



アジア歴史資料センター

昭和三十二年七月廿九日
際上ハ兎ニ角形式及方法ニ於テ不穩當ト認メ滿洲國及關東局ニ對シ
接衝シタル結果前記ノ如キ形式ヲ取ルコト、ナリ又本來本件ハ單ニ
治外法權撤廢迄ノ間ニ於ケル日本警察官ノ執務振見學ノ意味ニ於テ
內的ニ關係當局者間ニ於テ試ミニ實施スル主旨ナルニ付右御含置ア
リ度シ

本信寫送附先 新京、奉天、營口、安東

在滿日本帝國大使館

S 1.4.4.0-1 923

(一) 滿洲國警察官吏ノ附屬地驛派遣ニ關スル件
關東局ニ於テハ滿鐵附屬地各停車場ニ滿洲國警察官派遣方ヲ左
記ノ如キ要綱ニヨリ申出アリタルニ付キ之ヲ承認シ本月十五日
ヨリ實施スルコトトナリタルカ關東局警務部及滿洲國警務司ヨ
リ各其ノ所屬機關ニ對シ實施ニ於就テノ注意通牒ヲ發シ遺憾ナ
キヲ期セリ

記

- 1、派遣ノ箇所及人員
滿鐵附屬地各驛ニ正私服警察官若干名但正服一名私服二名ヲ
標準トス
- 2、派遣警察官吏ノ服務
イ、驛内外ニ在リテ來降滿洲國人ノ動靜ヲ視察シ要視察人、
要注意人ノ移動ヲ警戒ス
- ロ、直接警察權ヲ行使スルコト、ナシ、但シ日本側警察官ノ
求メアルトキハ之ヲ援助ス

在滿日本帝國大使館

S 1.4.4.0-1 924



機密第三一八號

昭和十年七月二十日

在滿洲國

特命全權大使

南

次郎

殿

在新京

總領事

川

村

傳

別紙添付

滿洲國警察官吏ノ附屬地驛構内派遣ノ件
本件ニ關シ公主嶺警察署ヨリ別紙寫甲號ノ通報告アリタリ當館警察署
ニ就キ質シタル處本件ニ關シテハ變ニ關東局警務部長ヨリ全局管内各
警察署長ニ對シ別紙寫乙號ノ通通牒アリタル趣ナリ
右報告申進ス

不信寫送付先

外務大臣、奉天、安東、營口

在新京日本總領事館

S 1.4.4.0 - 1

926



外務大臣 廣田 弘毅 殿

昭和十年七月二十日附機密第三一八號在滿大使宛寫送付

件名

滿洲國警察官吏ノ附屬地驛構内派遣ノ件

公機密第二〇八號

昭和十年七月二十日

在新京

總領事

川

村

外務大臣

廣

田

弘

毅

殿



別紙添付

在新京日本總領事館

S 1.4.4.0 - 1

925

甲
號

公警高秘收第七四四八號ノ三

昭和十年七月十七日

公主嶺警察署

警務部長
新京總領事 殿

滿洲國警察官吏ノ附屬地驛構内派遣ノ件

對號御通牒ニ係ル首題ニ關シ懷德縣警務局佐藤指導官ハ本月十五日當署ヲ訪ヒ今回上級官廳ノ通牒ニ基キ左記三名ヲ公主嶺驛ニ派遣スルコトニナレリトテ連絡上ニ就キ依頼挨拶ヲ述ヘ昨十六日ヨリ派遣目下晝間ノミ勤務シツツアリ尙懷德縣管内范家屯ヨリ大榆樹間ニ亘ル各驛ニモ全様派遣スヘク準備中ナリト云フ

在新京日本總領事館

S 1.4.4.0 - 1 927

制服警長
私服巡官
警長

記

角 谷 勇 二
單 亦 有
馬 俊 程

以上

在新京日本總領事館

S 1.4.4.0 - 1 928

乙號

關警親第三二四號

昭和十年六月二十九日

關東局警務部長

管内各警察署長 殿

附屬地驛構内ニ滿洲國警察官吏派遣ノ件

日滿不可分一體ノ根本義強化ノ現況ニ鑑ミ相互警察官ノ共助連繫ヲ一層緊密ナラシムルノ要アルヲ認メラルル處今回左記要項ニ基キ滿洲國警察官吏ヲ附屬地驛構内ニ派遣方許容スルコトト相成候ニ付テハ右趣旨ヲ部下一般ニ示達訓授スルト共ニ驛取締勤務員ノ配置、服務、派遣滿洲國警察官吏トノ連絡等ニ關シ今後特ニ留意萬遺算ナキヲ期セラレ度及通牒候也

在新京日本總領事館

S 1.4.4.0-1 929

記

一、派遣個所及派遣人員

滿鐵附屬地各驛構内ニ正私服警察官若干名（正服一私服ニヲ標準トス）

ニ、驛派遣警察官吏ノ服務

(1) 驛内外ニ在リテ來降滿洲國人ノ動靜ヲ視察シ要視察人、要注意人ノ移動ヲ警戒ス

(2) 直接警察權ヲ行使スルコトナシ

但シ日本側警察官ノ求メアルトキハ之ヲ援助ス

三、實施期

昭和十年七月一日以降

在新京日本總領事館

S 1.4.4.0-1 930



電信課長

大臣
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人書 文書 會計 會計 祕書官

寫送先

關

昭和10年 7月 一一六二二 暗

安東 廿二日後發
本省 七月廿二日後着

廣田外務大臣

榑谷領事

第二六號
本官發滿宛電報
第三一號

今般當地附屬地警察署長ヨリ安東驛並ニ沿線各驛構内ニ滿洲國警察官ヲ派遣スルコトトナレル趣報告ニ接シタルニ依リ其ノ經緯ニ付問合セタル處右ハ新京ニ於ケル軍部ト滿洲國間ノ了解ニ基キ關東局警務部長ヨリ當地警察署長ニ通牒アリタルニ依ル趣ニシテ右通牒ニ依レハ派遣滿洲國警察官ノ任務ハ驛内外ニアリテ來往滿人ノ動靜ヲ視

(分類 門 類 項 目 /)

外務省

S 1.4.4.0-1 931

滿洲國附屬地方行政權

察シ要注意人等ノ移動ヲ警戒スルモノニシテ直接警察權ヲ行使スルコト無キモ日本側警察官ノ求メアル時ハ之ヲ援助ストアリ右ハ日滿間ノ現状ニ鑑ミ又相互警察官ノ協助聯繫ヲ緊密ナラシムル意味ニ於テ趣旨ニ於テハ差支無キコトト存セララルルモ形式上附屬地ノ絕對的排他的行政權ト關係アルヤニ思料セラルル處右ニ關シテハ貴大使ニ於テ御承認ヲ與ヘラレタル次第ナリヤ爲念承知致度シ
大臣、奉天、營口へ轉電セリ

外務省

S 1.4.4.0-1 932

REEL No. A-0464

0393

アジア歴史資料センター